

第1回丸山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成23年12月1日(木) 午後7時
会場 丸山公民館 大会議室
出席委員 23名
傍聴 2名

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ

こんばんは。丸山地区学校再編検討委員をお受けいただきまして大変ありがとうございます。私自身も50年前に学校統合を体験してきた中、また自分の地区の学校再編を進めていかなければならないという非常に複雑な思いはありますが、皆様方に御協力をいただきまして良い形の結論を導いていきたいと思っています。私どもは、複式学級の解消も含め、出来る限り子供たちの教育環境を良いものにするという方向で第1期として白浜、富浦、富山地区の再編を進めてまいりました。今年度末で平群小学校と岩井小学校がそれぞれ閉校し、新しい富山小学校になります。さらには、富山中学校と一緒に富山小中学校として小中一貫校としての校舎設置も含めて今検討している最中です。第2期の千倉、和田、丸山地区ですが、現在私どもは最初の計画を修正しています。当初中学校は26年からの第3期ということでしたが、かなりスピードを上げていかなければ社会情勢の変化のスピードについていけない状況になっています。その理由の1つ目は、子供の数が私どもの予想以上に減ってきているということ。市内全体で1学年200人台を推移していましたが、現1歳児は200人を割り190人となっています。特に一番子供の数が多い千倉中学校区においても45人という状況、白浜では14人、他の地区も20人台と中学校再編を26年から検討していく状況では無くなってきています。2つ目に、3月11日に震災で津波の被害がありましたが、私どもの学校についても海拔はやはり考慮していかなくてはならない。新たに再編していく地区等においては、海拔を考慮し校舎の位置を考え、津波だけではなく震災に備えた校舎造りをしていかなくてはならないと新たな課題として入ってきています。また、やはりある程度切磋琢磨して勉強できる環境を作ることも大事なことの強い思いもあります。これは学力だけではなく、心身あるいは子供たちが持っているあらゆる可能性を引き出すためには、やはりそのような環境を用意していくことも必要と考えて、12月末までに若干の計画修正をして皆様方の第2回の会議にはそれに基づいた具体的な提案をする予定です。長くはなるかと思いますが、南房総市全体の学校の在り方ということで御意見いただけますようお願い申し上げます。

4. 委員紹介

委員、オブザーバー、事務局

5. 設置要綱説明

南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱を説明。

委員 第5条の任期についてですが、第2項に前項の規定にかかわらず、第3条第2項の委員のうち、役職にあることにより委嘱されたものの任期は、当該役職の任期とするとあるが、どの部分が役職として該当するのか。具体的に言えば、委員名簿の中の所属が南幼小PTAで委嘱されたものなのか、会長・副会長などの職務で招集されたものなのか。どう捉えたらいいのか。

事務局 この役職というのは、この所属の中にある範囲で役職と捉えています。例えば、南幼小PTAであればPTA会長の肩書で委嘱させていただくわけではなく、あくまでもPTAの代表として4名の方をお願いしていると捉えていますので、副会長から会長になり、その次に顧問という肩書になったとしても役職が終わるわけではない。PTAの中で協議して次年度も代表として推薦をいただければPTA会長が終わり違う肩書になっても構いません。ですから、この役職というのは、幼小PTAの会員から外れるまでとの捉え方をしてもらっていいかと思います。

委員 幼小PTAから外れて欠員が出た場合は別途推薦という感じですか。

事務局 はい。

6. 委員長・副委員長選出

委員長 渡邊利昌氏

副委員長 星谷洋三氏

7. 議事

委員長 規定により傍聴人を入場させます。

(傍聴人入場)

委員長 第1号「南房総市幼稚園及び小中学校再編計画について」を議題とします。

事務局 修正中の南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画の概要について説明。

委員長 説明が終わりました。質疑ありますか。

委員 今回の説明の中で幼保一体化に進んでいるとの話ですが、もう南幼小と丸幼小は統合することを前提に会議を進めていくわけですか。

事務局 まず、この大本となる平成19年度策定の南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画の中で市内の少子化、これらに対する現場の対応としては学校統合せざるを得ないと結論が出ており、再編協議の中で提案をさせていただいています。ですから、南小学校と丸小学校の統合がまず1つの前提と私どもは考えていますので、そのことを踏まえて検討していただけたらと思います。

委員 多くの地区では幼小と表記され、富浦地区だけ小学校、幼稚園別々に表記されているが、幼稚園には別に園長がいるのですか。

事務局 南房総市立の全ての幼稚園については、その地区の小学校長が園長を兼ね

ています。他地区では小学校の敷地内に幼稚園があり表記は幼小となっていますが、富浦については幼稚園が全く別の場所に独立してありますので富浦小学校の表記と富浦幼稚園の表記が別で掲載されています。

委員 この安房においては、近接した場所や小学校敷地内に幼稚園を建設してきたと思うが、今回富浦の場合は別々になった。別々になり園長が離れているのはどうかと思う。

教育長 旧町村の流れがあり、富浦町時代に八束幼稚園というのはありませんでした。富浦幼稚園に通って小学校は八束小学校と富浦小学校に分かれ6年間通います。それで中学校でまた一緒になるという他の町村とは違った形で富浦町はやっていました。旧町村の時から幼稚園1園で、私も教頭をやりましたが校長と教頭は兼務し、ただ敷地が離れているだけで幼稚園と小学校の繋がりについては、他の町村と同じような形でやってきています。

委員長 第1号南房総市幼稚園及び小中学校再編計画について、幼稚園と小学校及び中学校の再編に向けた意見集約に今後も務めていく事の確認が出来ました。検討委員会として学校再編に向けて、各種検討事項について協議していくものとします。次に第2号「学校再編検討委員会の推進体制について」を議題とします。

事務局 地区推進イメージや検討委員会の組織について説明。

委員長 質疑がありませんので、第2号学校再編検討委員会の推進体制については、事務局から説明がありましたとお承認いたします。次に第3号「幼稚園、小学校及び中学校の現況について」を議題とします。

事務局 児童生徒数の推移予想、各小中学校施設について説明。

委員 南小と丸小の海拔は何メートルですか。また、中間位置の市場や丸山中学校辺りは海拔何メートルですか。この場で分からなければ次回に数字を出していただくことは可能でしょうか。

事務局 丸小が海拔43.3m。南小が12.4m。丸山中が29.7m。市場は今日資料がないので分かりません。

委員 ありがとうございます。

委員長 第3号幼稚園、小学校及び中学校の現況については、只今説明された事項を十分踏まえた上で、当委員会での検討資料としていきたいと思えます。次に第4号「学校再編に係る協議・検討事項について」を議題とします。

事務局 協議・検討事項や地区推進の流れについて説明。

委員長 説明が終わりました。今後、私たちの一番の役割がこの辺に示されていることがよく理解いただけたかと思えますが、何か質問はありませんか。質疑ありませんので第4号学校再編に係る協議・検討事項については、只今の協議内容を十分に踏まえた上で、次回からの検討委員会の議題とします。よろ

しくをお願いします。次に第5号「第2回検討委員会の日程について」を議題とします。

事務局 第2回の検討委員会の日程について、まず、皆様方に協議していただきたいのが開催時間です。本日のように夜7時からで良いのか。それとも昼間が良いのか協議していただければと思います。また、期日ですが予定としまして、1月中旬から下旬の間で第2回目を開催したいと考えています。委員長、副委員長と事務局で調整し、12月中に案内させていただきたいと思います。

委員長 只今事務局から提案がありました。まず、会議の開会時間ですが、夜が良いのか。あるいは、昼間が良いのか皆さん方のお考えをいただければと思います。夜で良い方挙手をお願いします。殆どの方ですね。昼間でなくては困る方参考までに挙手をお願いします。いないようですね。それでは、午後7時頃からということで結論よろしいですか。

委員 はい。

委員長 ありがとうございます。開始時間については、夜の7時頃となりました。次に、開催日程ですが提案がありました1月中旬から下旬で、事務局と相談して皆様方にお知らせします。本日の議事が全て終わりました。御協力ありがとうございました。

(傍聴人退場)

閉会